-	事	務事業。	マネ	ジメン	ノトシート	(20年度	実績と21年	度計画)	21年度予算網 20年度決算指	扁成後 平成 P.握後 平成	21 年 21 年		19 日 作成 19 日 作成
事務事業名 押し花しおりづくり教室実施事業								マニフェスト関連	全庁権課題队	黄断	集中はアラント	女革	
総合		政策       4       みんな元気で笑顔あふれるまちづくり         施策       20       生涯学習の推進					所属	部 教育委員会 課 生涯学習認		課長名 担当者名			
計画							所属	所属班 図書館班 (内線) 2511					
体系	基本事業 68 学習やスポーツへの参加機会の提供					法令	法令根拠						
	子	算科目	会計 1	款 10	項 目 5 8	事業連番 10804		年度で終了	214	<b>下度から開始</b>	成果優先		
事		事業期間 事業の概要(		1 /	み <b>▽</b> 単年度 方、手順、詳	environ Change II a	度 18 三複数年度事	年度) 業は全体像を	期間限定複	[数年度 (	~		年度)
【事 読 【第	業 <i>0</i> 書週 終務 <i>0</i>	の内容】 !間にともない. の流れ】	、講師を	呼んで	押し花しおりつ	びりをする。作	製したしおりは	読書週間に図	書館利用者へ		作製したしおり	は参加:	者および読書週
間【主	に図	書館を利用し 予算費目】報酬	た利用	者へ配っ 費(消耗	布する。								
(1)	事	伏把握の部( 務事業の目6	的と指										
20	年度		度に行		:な活動) (DO			•講座]		しおりづくりを	開始し、図書館		AN) の準備中にしおり
·諱 · 作	師を	を呼び、参加者 したしおりは読	きを市民 書週間	から募 期間中	集し、押し花し	おりづくり教室	を開催した。 含む)にて貸出		と時期が重ならた 他は20年度と同		0		
^	配布	した。(枚数制	川限あり	)				(5)活動	動指標(事務事	業の活動量を	表す指標) =(	①の指標	票 (単位)
								$\Rightarrow \frac{\mathcal{T}}{\mathcal{T}}$	しおり作り参加 1.おり配布枚数	l者数 fr			人
_	対象		対象に	してい	るのか)*人⁴	や自然資源等	÷	<b>⑥対</b> ア	をおり配刊機会 象指標(対象の 読書週間中の	<u>×</u> 大きさを表すす <b>ヘギキ・図</b> 書	指標)=②の指 <b>給利田考数</b>	標	(単位)
·Ĺ	おり	の配布対象に			す 象をどう変える	(MA)							人
					家をとり変える 館を利用しても			ュア	具指標(意図の しおり作り参加 - よい配表が*	Ⅰ者数	指標/一・シック	指係	(単位 <u>)</u> 人 枚
					的に結び付け	けるのか)		<b>⑧上</b> f	しおり配布枚数	-位目的の達原	<b>戊度を表す指標</b>	票)=④	の指標 (単位)
'		スポーツに参			ある				学習に親しむれ スポーツに親し				% %
(2)	総:	事業費・指標	三等のア	4 1.67									
	,,,,,			単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)		全体計画 ~ 年度
-		国庫支財 都道府県	出金	単位 千円 千円		,	,		1 5			(期	
	事	財 が 都道府県 源 地方 内 その	出金	単位 千円 千円 千円		,	,		1 5			(期間限	
投		財 が 都道府県 源 地方 内 その	出金 <sub>支出金</sub> 賃 他 金	単位 千円 千円 千円		,	,		1 5			(期間限定複	
投入量	事業費	財 ボール方 内 その 訳 繰入	出金 大田金 債 他 金 け源 費 計	単位 千円 千円 千円 千円		,	目標(当初予算)	実績(決算) 13	目標(当初予算)	(目標)	(予定)	(期間限定複数年	
入	事業費	財 都道府県 源 地方 内 その 訳 繰入 一般貝 (A)事業 うち指定 うち時間外、特	出金 支出金 債 他 金 好源 : 費 計 ※経費 <sub>殊勤務手当</sub>	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績(決算)	実績(決算) 	目標(当初予算) 13 13	実績(決算) 13 13	目標(当初予算)  14  14	(目標) 14 14	(予定) 14	総トータルコス(期間限定複数年度の	~   年度
入	事業費人件	財 都道府県 地方 での での での での での での での での での での	出金 支出金 <b>賃</b> 他 金 材源 書 素 動務 手 動務 野 時間	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績(決算)	実績(決算) 5 5 7	13 3 7	実績(決算) 13 13 2 7	目標(当初予算)  14  14  2  7	(目標) 14 14 2 7	(予定) 14 14 2 7	総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記	~     年度
入	事業費人件費	財 都道府県 地方 での での での での での での での での での での	出金 支出金 債 他 金 が 費 乗 事 手 間 計 計 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	単位 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	実績(決算)	実績(決算) 5 5 7 28 33	13 13 3 7 28 41	実績(決算)  13 13 2 7 28 41	目標(当初予算) 14 14 14 2 7 28 42	(目標) 14 14 14 2 7 28 42	(予定)  14  14  2  7  28  42	総トータルコスト (期間限定複数年度のみ記載)	~   年度
入	事業費  人件費	財 都道府県 源 地方 での 課 一般目 (A)事業 うち指定 うち時間外、特 正規職員従 延べ来務 (B)人件費	出金 支出金 債 他 金 が 費 乗 事 手 間 計 計 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	単       イ         千       千         千       千         千       千         千       千         千       千         十       千         人       人         人       人	実績(決算) 0 0	実績(決算) 5 5 5 7 28 33 10 500	13 13 13 28 41 15	実績(決算) 13 13 2 7 28 41 33 600	目標(当初予算)  14  14  2  7  28  42  700	(目標) 14 14 14 2 7 28 42 30 700	(予定)  14  14  2  7  28  42  30  700	総トータルコスト 目 (期間限定複数年度のみ記載) 総	~ 年度 C
入	事業費 人件費 ト	財 「本道府県 「本道府県 「本の一 「本の一 「本の一 「本の一 「本の一 「本の一 「本の一 「おいっ 「あいっ 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	出金 支出金 債 他 金 が 費 乗 事 手 間 計 計 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	単位 千千千千千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	実績(決算) 0 0	実績(決算)  5  5  7  28  33  7  28  33  4523	13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702	実績(決算) 13 13 2 7 28 41 33 600 5142	14 14 14 2 7 28 42 	14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700	(予定)  14  14  2  7  28  42  700  4700	総トータルコスト 目標数(期間限定複数年度のみ記載) 総合計	~ 年度 C
入	事業費 人件費 下	財 源 内 記 一 で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	出金 支出金 債 他 金 が 費 乗 事 手 間 計 計 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	単       千千千千         千千千千       千千千         千千千       千千         大大       大大         大大       大大	実績(決算) 0 0	実績(決算)  5  5  5  3  7  28  33  10  500  4523	13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702	実績(決算) 13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142 33 600	日標(当初予算)  14  14  14  2  7  28  42  700  4700  30  700	14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 700	(予定)  14  14  2  7  28  42  30  700	総トータルコスト 目標数値 (期間限定複数年度のみ記載) 総合計画	~ 年度 C
入	事業費人件費	財 源 内 記 (A)事 う う り う り り り り り り り り り り り り り り り	出金 支出金 債 他 金 が 費 乗 事 手 間 計 計 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	単 千千千千千千八時千千人 <b>枚人</b> 人	実績(決算) 0 0	実績(決算)  5  5  5  6  3  7  28  33  10  500  4523	13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702 15 700 45.5	実績(決算)  13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142	14 14 14 2 7 28 42 	14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700	(予定)  14  14  2  7  28  42  30  700  4700	総トータルコスト 目標数値 (期間限定複数年度のみ記載) 総合計画	~ 年度 C
入量	事業費 人件費 上 事	財源内訳	出金 支出金 横 他 を 乗 乗 事 時 計 ) ) ) ) ) ) ) ) で で で で で で で で で で で で で	単 位 円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円円	実績(決算) 0 0 0 45.1 42.6	実績(決算)  5  5  7  28  33  7  28  33  10  500  4523  10  500  46.5	13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702 15 700 45.5	実績(決算) 13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142 33 600 47.3 44.3	日標(当初予算)  14  14  14  2  7  28  42  30  700  4700  45.8  43.6	(目標) 14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 700 46	(予定)  14  14  2  7  28  42  30  700  4700	(期間限定複数年度のみ記載) 総合計画 22	~ 年度 C
入量 (3) (1)	事業費人件費ト	財源内訳	出金 支債 他 を源 乗事時計 ) + (B) アイアイアイアイ化 変開	単 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	実績(決算) 0 0 0 45.1 42.6 意見等 かけは何か	実績(決算)  5  5  7  28  33  7  28  33  10  500  4523  10  500  46.5	13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702 15 700 45.5 43.3	実績(決算) 13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142 33 600 47.3 44.3	日標(当初予算)  14  14  14  2  7  28  42  30  700  4700  45.8  43.6	(目標) 14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 700 46	(予定)  14  14  2  7  28  42  30  700  4700	(期間限定複数年度のみ記載) 総合計画 22	~ 年度 C
入量 (3)(1): 1 (2)	事業費 人件費 ト 上 事の書 事	財源内訳	出生金 (現金) ででである。 出生金 (現金) では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単 千千千千千千十人時千千人枚人 人枚% % (注きは18年) には、	実績(決算)  0  0  45.1  42.6 意見等 かけは何か 手度より開始 象者や根拠	実績(決算)  ま績(決算)  3 7 28 33 10 500 4523 10 500 4523 2いつ頃どん	目標(当初予算) 13 13 13 13 13 14 15 700 4702 15 700 45.5 43.3 な経緯で開め	実績(決算) 13 13 13 13 13 33 600 5142 33 600 47.3 44.3	目標(当初予算)  14  14  14  14  2  7  28  42  30  700  4700  45.8  43.6  ?	(目標)  14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 4700 444	(予定) 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700	総トータルコスト   目標数値 2年 か   2度 ?	~ 年度 C
入量 3①· 2· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3·	事業費 人件費 ト 事ご書 事業	財源内訳	出生金 (現金) ででである。 出生金 (現金) では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単 千千千千千千十人時千千人枚人 人枚% % (注きは18年) には、	実績(決算)  0  0  45.1  42.6 意見等 かけは何か 手度より開始 象者や根拠	実績(決算)  ま績(決算)  3 7 28 33 10 500 4523 10 500 4523 2いつ頃どん	目標(当初予算) 13 13 13 13 13 14 15 700 4702 15 700 45.5 43.3 な経緯で開め	実績(決算) 13 13 13 13 13 33 600 5142 33 600 47.3 44.3	目標(当初予算)  14  14  14  14  2  7  28  42  30  700  4700  45.8  43.6  ?	(目標)  14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 4700 444	(予定) 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700	総トータルコスト   目標数値 2年 か   2度 ?	~ 年度 C
入量 3①· 2· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3· 3·	事業費 人件費 ト 事ご書 事業	財源内訳 (A) うら時職べ(B) コ 指 指 果 業事が を 報 に 乗 に 乗 に 乗 を で を で で で で で で で で で で で で で で で で	出生金 (現金) ででである。 出生金 (現金) では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	単 千千千千千千十人時千千人枚人 人枚% % (注きは18年) には、	実績(決算)  0  0  45.1  42.6 意見等 かけは何か 手度より開始 象者や根拠	実績(決算)  ま績(決算)  3 7 28 33 10 500 4523 10 500 4523 2いつ頃どん	目標(当初予算) 13 13 13 13 13 14 15 700 4702 15 700 45.5 43.3 な経緯で開め	実績(決算) 13 13 13 13 13 33 600 5142 33 600 47.3 44.3	目標(当初予算)  14  14  14  14  2  7  28  42  30  700  4700  45.8  43.6  ?	(目標)  14 14 14 2 7 28 42 30 700 4700 30 4700 444	(予定) 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700	総トータルコスト   目標数値 2年 か   2度 ?	~ 年度 C
入量	事業費 人件費 上事ご書 事業も	財源内訳 (A) うら時職べ(B) 二 指 指 果 乗 が で を は で で で で で で で で で で で で で で で で で	出ま賃他金源費等時計)+ 第時計・	世 千千千千千千千八時千千人枚人 人枚% でたた 沢の	実績(決算)  0  0  45.1  42.6 意見等 かけは何か <b>東度より開始</b> 象者や根拠  象者や根拠  募集でしたが、	実績(決算)  ま績(決算)  3 7 28 33 10 500 4523	目標(当初予算) 13 13 13 13 13 13 14 15 700 4702 15 700 45.5 43.3 な経緯で開め	実績(決算) 13 13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142 33 600 47.3 44.3 台されたのかか、開始時期	目標(当初予算)  14 14 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700 30 700 45.8 43.6 ?	(目標) 14 14 14 14 14 30 700 4700 30 700 474 46 44	(予定) 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700 30 700 4700 30 700 4700	総トータルコスト   目標数値 2年 か   2度 ?	~ 年度 C
入量 30. 1 2 1 2 1 2 1 3 1 2 1 2 1 2 1 3 1 2 1 2	事業費  人件費  上事ご書 事業も こ書	財源内訳 (A) うら時職で(B) スト (B) スト (B) スト (B) スト (B) スト 標標 標 標 第 第 第 4 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を	出支債他金が費養乗事時費)+ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	単 千千千千千十八時千千人枚人 人枚% にきれば 対加	実績(決算)  0 0 0 45.1 42.6 意見等 かけは何か 乗度より開始 象者でしたが、	実績(決算)    10   10   10   10   10   10   10   1	目標(当初予算) 13 13 13 13 3 7 28 41 15 700 4702 15 700 45.5 43.3 な経緯で開始 が変化しているらは小学4年生	実績(決算) 13 13 13 2 7 28 41 33 600 5142 33 600 47.3 44.3 6 かい、開始時期 E以上で募集を	目標(当初予算)  14 14 14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700 30 700 45.8 43.6 ?	(目標)  14 14 14 14 2 2 7 28 42 30 700 4700 4700 46 44  ゴルンドルベマと	(予定)  14 14 14 22 7 28 42 30 700 4700 30 700 4700 30 700 1700 30 700	総トータルコスト 目標数値 2 を の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内 の内	~ 年度 C

	事務事業名	押し花しおりづ	くり教室実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課		
2			の事後評価、ただし複数						
	①政策体系との整	<b>E</b> 合性		理由】▼	⇒3評価結果の総括	(SEE) (3	<b>上</b> 反映		
	この事務事業の目的は市の				まを高めることにより、結!	果の図書館	官来館者数の増加に結びつく。		
l	か?意図することが結果に	話びついているか?							
妥		<b>光</b> 州:		押山し	→3証価結里の総括	(SEE) lz	一豆曲		
		コ圧		理由】	一 3 計   Ш州木 1 7 小心1口	(SEE) (C	-124		
当	なぜこの事業を市が行わな 税金を投入して、達成する	にければならないのか? 目的か?					はにおける文字・活字文化の振興に貢		
性評価			献する沽助を促進するため、 た事業であるため、行政が行			とするとめ	る「文字・活字文化振興法」に基づい		
	<ul><li>③ 対象・意図の姿</li></ul>	妥当性			⇒3評価結果の総括	(SEE) k	反映		
	<b>与格之明点(竹加)</b> (***		▼ 適切である ⇒【	理由】与					
	対象を限定・追加すべきかべきか?	・? 息凶を限定・拡充す							
	④ 成果の向上余	地			⇒3評価結果の総括	(SEE) (S	反映		
	成果を向上させる余地はあ	らるか?成果の現状水		理由】 <b>う</b> ・ ば、もっと多	くの利用者にPRできるか	バ予算(消	拝品費)と手間がかかる。		
	準とあるべき水準との差異 成果向上が期待できない。		・しおりの作製枚数を増やせば、もっと多くの利用者にPRできるが予算(消耗品費)と手間がかかる。						
		4日 の影郷	日/郷何 【7四十】		01左座到南/01左座	oz 취 교육) v	インフーム(T手L) (DI ANI)		
有	⑤ 廃止・休止の原	以来への影響	<ul><li>□ 影響無 ⇒【理由】</li><li>□ 影響有 ⇒【その内容</li></ul>		21年度計画(21年度)	に計画し	ている主な活動)(PLAN)		
效		場合の影響の有無とそ			るための事業として、廃」	上する場合	は他の案を考えるべきである。		
性									
評価	⑥ 類似事業との	統廃合・連携の	□ 他に手段がある 🖜	(具体的な	手段, 事務事業)				
1	可能性			(><11.42.2	1 12, 7 13, 7 12,				
	目的を達成するには,この 法はないか?類似事業との				自 → 3評価結果	果の総括	(SEE)に反映		
	類似事業との連携を図るこ が期待できるか?								
	79114 CC 070			31-00 /20/	( XED3100 CC 100 %				
	② 本楽曲の似み	A life	● 他に手段がない ⇒【	理由】	10年年代日本公	AT (ODD	\)~ I nd		
	⑦ 事業費の削減	余地		理由】る理由】る	⇒3評価結果の総	活(SEE	)に反映		
₩	成果を下げずに事業費を		・押し花の材料・道具などは		先生に用意してもらってし	いる。最低	限の費用で行っているため、削減の		
郊率	様や工法の適正化、住民の	// (姉/ ) / (よと )	余地はない。						
性	8 人件費(延べ美 (変べ美)	業務時間)の削	<ul><li>□ 削減余地がある ⇒【</li></ul>	理由】5	→3評価結果の総	括(SEE	)に反映		
評価	減余地	1000 01100		理由】	· Oli Iminasio via	,,n (~ <b>22</b>	,,-50,50		
liμ	やり方を工夫して延べ業務 か?成果を下げずにより正		・周知のためのポスター製作	や講師の手	配等以外は、当日まで	手間はとら	ない。業務時間の削減は難しい。		
	託でできないか?(アウトソ								
	⑨ 受益機会·費月	用負担の適正	□ 見直し余地がある ⇒【	理由】 🕏	⇒3評価結果の総	括(SEE	)に反映		
	化余地	*	✓ 公平・公正である ⇒【	理由】 🎝					
性評	ではないか?受益者負担								
伳	. v -557 :								
	評価結果の総括( ) 1次評価者として			(9)	) 全体総括(振り返り、	巨化 占)			
(1	/ 1次計価相として	の計画を未		(2,	/ 主体総括(成り返り、	(人)			
	① 目的妥当性		切 見直し余地あ		①目的妥当性について				
	② 有効性 ③ 効率性	▽適			<ul><li>②有効性については、・</li><li>③効率性については、・</li></ul>				
	<ul><li>④</li></ul>	▼ 適			④公平性については、・	•••			
	▲ ※ の 士 白 州 (車	· 数	#\/DLANI\						
_	4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (2) 改革・改善による期待成果								
	「廃止   「休止   「目的再設定   「事業統廃合・連携   「事業のやり方改善(有効性改善)   (廃止・休止の場合は記入不要)								
	事業のやり方改善(		■ 事業のやり方改善(公平をしない)	性改善)			コスト		
成向上成地持									
(3	) 改革, 改善を実理	見する上で解決	すべき課題(壁)とその解決	央策					
			の統括課長の総括)	1 - 0	古公库中 4 0	<del></del>	=		
(1	)目的の直結度	3	( 直結度高い	$_1\sim$ 3	直結度中 4~6	旦.結	度低い 7~9 )		